

お知らせ

平成16年12月7日
石油資源開発株式会社
東北電力株式会社

白石・郡山間ガスパイプラインの本格工事の開始について

石油資源開発および東北電力は、平成16年10月より、白石・郡山間ガスパイプライン（以下、「郡山ライン」）の建設準備を進めておりましたが、本日より、関係官庁への諸手続きが整った個所から、本格工事を開始いたしました。

郡山ラインは、宮城県白石市〔新潟・仙台間ガスパイプライン（以下、「NSライン」）分岐地点〕より福島市を經由して郡山市に至る延長約95kmのパイプラインで石油資源開発および東北電力が共同所有（石油資源開発80%、東北電力20%）するものです。

今後は、平成19年3月の操業開始に向け、鋭意、工事を進めることとしております。なお、本格工事の開始にあたり、本日、福島稲荷神社（福島市宮町5-2）において関係者による起工式を執り行っております。

石油資源開発および東北電力は、これまで、共同出資で設立した東北天然ガスを販売主体として、石油資源開発が所有するNSラインの沿線を中心に天然ガスの普及拡大を図っており、郡山ライン沿線の需要開拓についても、同様に実施することとしています。これにより、環境特性に優れた天然ガスをより経済的かつ安定的に供給することが可能となり、東北地域の天然ガスの普及・拡大に大きな弾みがつくものと考えています。

今後とも、地域のお客さまに経済的かつ最適なエネルギーを安定的にお届けすることで、地域の発展に貢献したいと考えています。

なお、郡山ラインの概要等につきましては別紙のとおりです。

以上

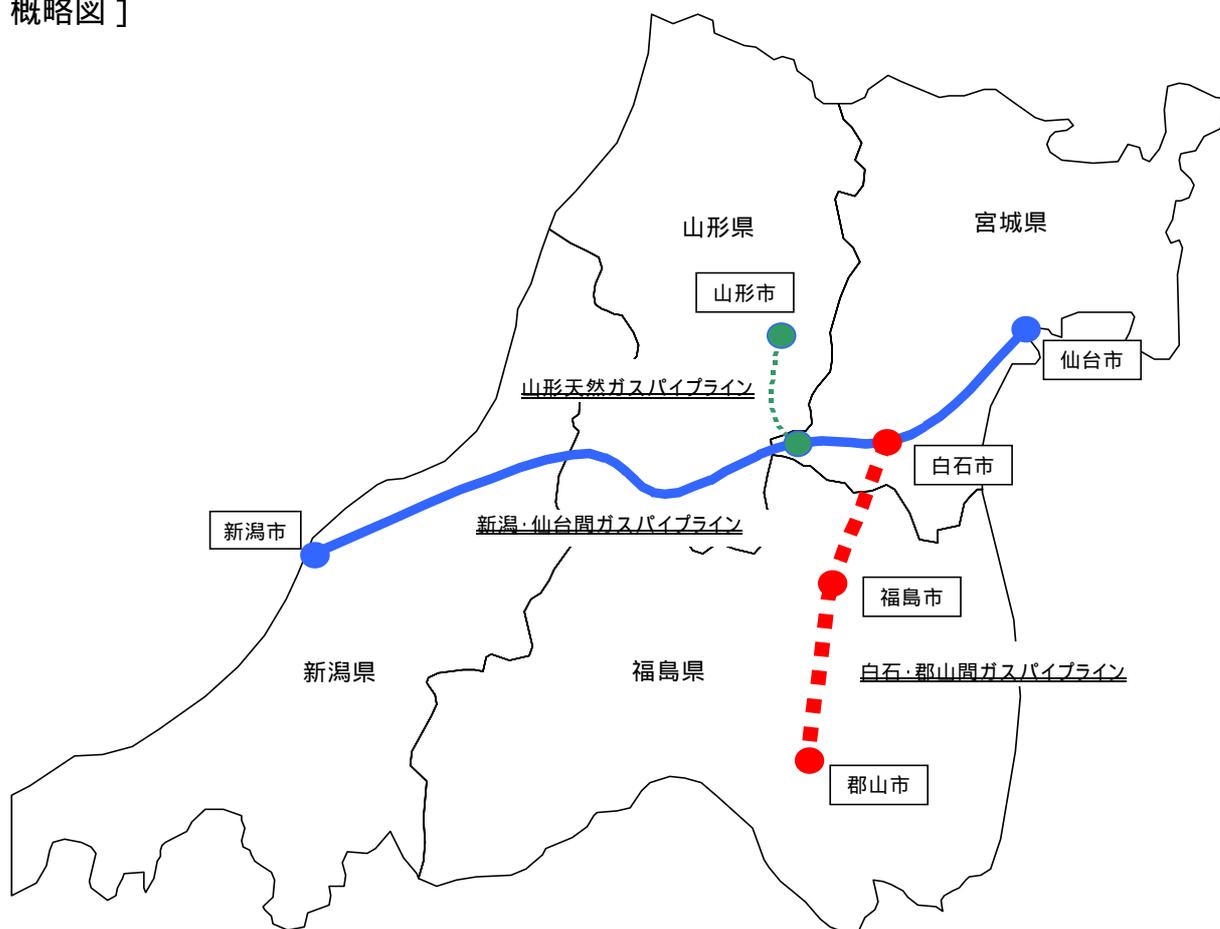
(別紙)

白石・郡山間ガスパイプラインの概要

- ・所有比率：石油資源開発(株)80%、東北電力(株)20%
- ・区間：宮城県白石市(NSライン分岐地点)～福島県郡山市
- ・延長：約95km
- ・口径：16インチ(406mm)、地下埋設
- ・設計圧力：6.86MPa
- ・輸送能力：約200万m³/日
- ・工期：平成16年10月[着工(建設準備開始)]、
平成19年2月竣工(予定)
- ・操業開始：平成19年3月(予定)
- ・建設費用：約200億円

建設は石油資源開発が実施。同社と東北電力はそれぞれ所有比率に応じた建設費用を負担。

[概略図]



以上

【参考】

東北天然ガス（株）の概要

（略称 TNG）

- ・本社所在地：宮城県仙台市本町二丁目5番1号
- ・取締役社長：伊藤隆氏
- ・資本金：3億円
- ・設立月日：平成5年7月8日（旧社名 東北天然ガス企画）
平成8年10月17日に現社名に変更
- ・株主・出資比率：東北電力（株）55%、石油資源開発（株）45%
- ・事業内容：主に天然ガス・液化天然ガスの購入および供給販売

以上

【参考】

新潟・仙台間ガスパイプラインの概要

- ・区間：石油資源開発（株）東新潟鉱山～仙台新港
- ・延長：約261km
- ・口径：20インチ（508mm）、地下埋設
- ・設計圧力：6.86MPa
- ・輸送能力：約500万m³/日
- ・事業者：石油資源開発(株)
- ・通ガス日：平成8年4月3日（新仙台火力2号機ガス焚試運転開始）

以上